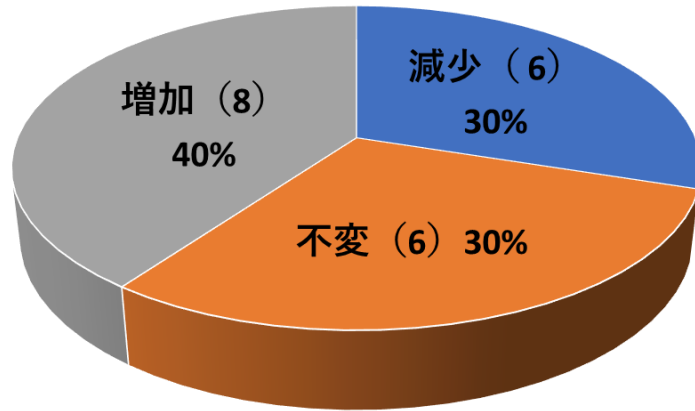


令和4年度景況調査

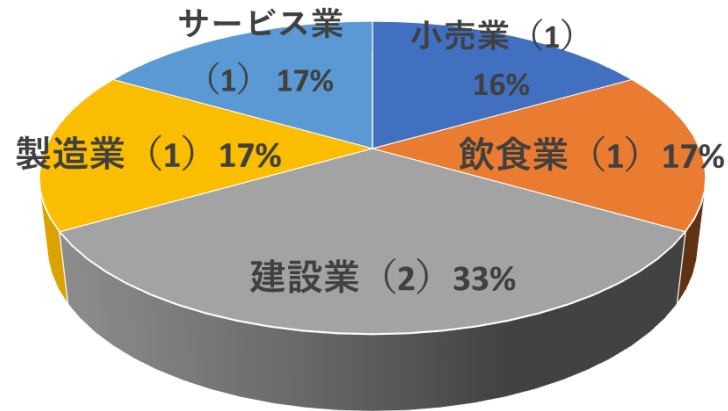
第二四半期（7月～9月）

①調査結果

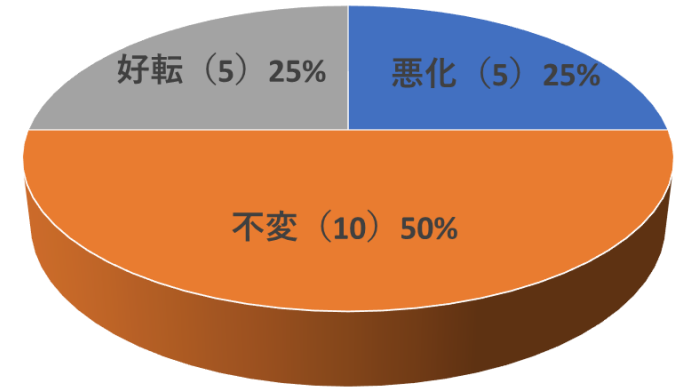
売上高の状況（前年比）



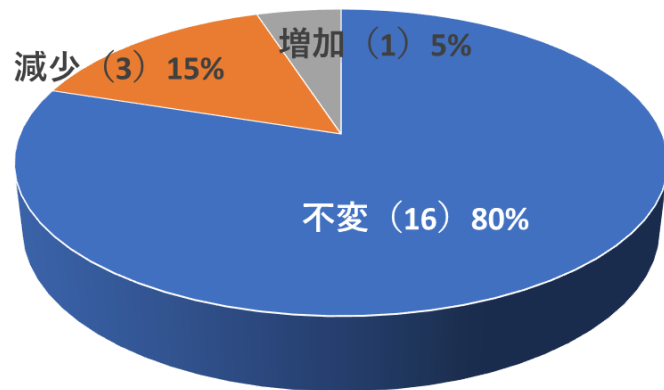
売上高減少企業の業種



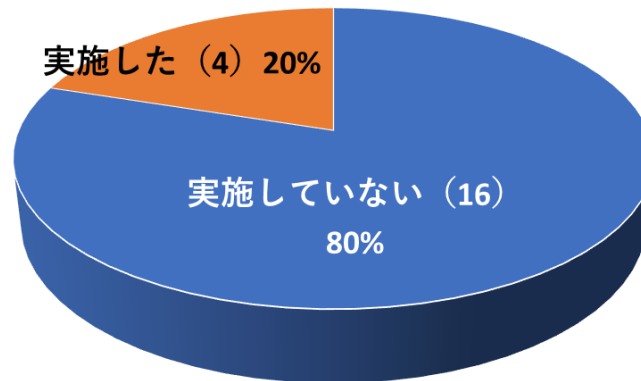
経常利益の状況



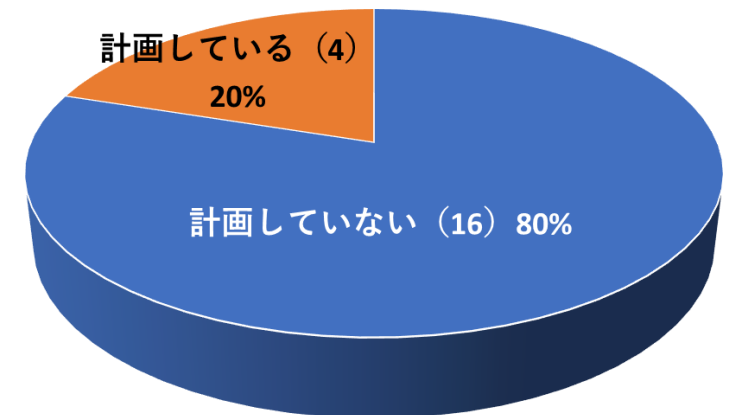
従業員の状況



設備投資の実施（今期）



設備投資の計画（今年）



②分析結果

売上高については、20社のうち8社が前年同期と比較して増加しており、3割が「減少した」と回答しています。売上高が減少したと回答した業種は、前期と比較して3業種から5業種に増加しており、様々な業種で売上の減少が見られます。経常利益については、「不変」「悪化した」と回答した事業者が75%を占めており、集客力の低下や原材料価格の高騰に係る仕入率の上昇が、経営を圧迫している状況が現在も続いています。

設備投資についても、前期と同様に今期は「実施していない」、また来期の「計画していない」と回答する事業所が7～8割を占めており、設備投資までの余力が捻出できず、経営の維持に努める事業所が多い状況が続いています。